

八幡平市教育委員会会議録

令和2年12月23日（水）

八幡平市教育委員会

令和2年12月八幡平市教育委員会定例会会議録

1. 開催日時

令和2年12月23日（水）午後3時00分から午後4時05分

2. 場所

八幡平市役所本庁舎3階 大会議室

3. 出席者

教 育 長	星	俊 也
委 員	宮 野	朋 士
委 員	高 橋	優 子
委 員	伊 藤	政 行
委 員	羽 沢	憲 英

4. 欠席者

なし

5. 説明等のため出席した職員

教育総務課長兼学校給食センター所長兼図書館長	工 藤 久 志
教育指導課長兼教育研究所長	照 井 英 輝
教育総務課長補佐兼総務係長兼学校給食センター副所長	佐々木 由理香

6. 傍聴者

なし

7. 教育長あいさつ要旨

11月定例会後の主な行事等について報告

- 1) 11月17日（火）第14回八幡平市新型コロナウイルス感染症対策本部会議
市内でも感染者が出たという事で、非常に緊張感のある本部会議になった。
- 2) 11月19日（木）安比高原スキー場安全祈願祭
- 3) 11月20日（金）学校長面談（人事）1校50～60分程度で行ったが、転出者等の確認を行っている。
- 4) 11月24日（火）市議会議員全員協議会
第2回教育支援委員会 検査結果に基づき発達障害等々就学时先について支援学級、特別支援学級等判定を行った。

- 5) 11月25日(水) 平笠小学校訪問及び第7回小・中学校校長会議 授業参観等もあったが、その会議の中で適正配置計画のアンケート結果を校長にも周知した。
- 6) 11月26日(木) 教育長面談(スキーリフト券の贈呈: 安比高原スキー場) 県内すべての子供たちにリフト券が贈呈されるということで、代表して受け取った。
- 7) 11月30日(月) 学校警察生徒指導連絡協議会指導部員研修会 いじめ防止等について各学校の取り組みの状況を共有した。
- 8) 12月1日(火) 第15回八幡平市新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 9) 12月15日(火) 第8回小・中学校校長会議 一層のコロナ対策を話した。
- 10) 12月16日(水) 学校給食センター調理等業務委託に関する選考委員会 調理業者が3年に1回改定になっており、その選考委員会を行った。
令和2年度平館高校第3回PTA常任理事会・第2回教育振興会理事会 高校の魅力化について意見交換した。
- 11) 12月18日(金) 盛岡教育事務所の学校長人事ヒアリング
- 12) 12月19日(土) 田山スキー場開き 猛吹雪の中、安全祈願等を行った。
- 13) 12月22日(火) 令和2年度第2回社会教育委員定例会議 今年度の各施設、コミセン等の利用状況について報告があった。コロナの関係で中止された行事が非常に多い年であった。
- 14) 12月23日(水) 教育委員会12月定例会

1月の主な行事について報告

- 1) 12月25日(金) 令和2年度岩手県教職員表彰受賞式
- 2) 12月28日(月) 第2回イングリッシュキャンプ
- 3) 1月6日(水) 教育研究所研究発表会
- 4) 1月7日(木) 子どもリーダー研修会
- 5) 1月8日(金) 第2回八幡平市総合教育会議
平笠裸参り
- 6) 2月11日(月) 令和2年度八幡平市成人式
- 7) 1月19日(火) 令和2年度第4回管内教育長会議並びに第1回人事異動等調整会議
- 8) 1月21日(木) 第8回校長会議
- 9) 1月25日(月) 教育委員会1月定例会
- 10) 1月27日(水) 第3回教育支援委員会

8. 報告事項の要旨

(教育総務課)

11月24日の全員協議会は、市長部局の案件で教育委員会が関与する部分はありません。医療費の助成、組織改編そういった内容の説明をしたものである。

11月30日の臨時市議会は、給与の人勧関係、期末手当0.05の引き下げ、それに係る給与改定の補正予算を審議したものである。

12月4日第4回定例会の教育委員会関係は、11日に行われた一般議案審議において、1,600万円ほど補正予算を計上しており、それについては原案どおり可決された。のちほど補正予算の内容を説明する。一般質問は3名の方から、教育委員会関連の通告を受けている。1人目、学校の体育館、地域のコミセンなどを使うことを前提として、子どもが文化芸術に親しむ環境づくりとして、教育における文化施設整備の必要性という通告。全体的な文化会館の構想実現について受けた中で、最後の1項目として、子どもに関する部分ということで質問を受けた。結論的に学校の体育館、地域の公民館、コミセンなど、既存の施設をこれまで通り、効果的に活用していく、そういう意味合いで答弁しているもので、市全体としての文化会館の構想についても、まだ前向きな答弁は見受けられなかったところである。いじめ・不登校の関係で、2人から同じような内容で質問を受けているが、新聞でも一時期大きく取り上げられ、そういった背景もあったのかなと思っているが、市内小中学校のいじめと、不登校の実態ということで質問を受けている。昨年度のいじめ認知件数は小学校で59件、中学校で14件、全体で73件と対前年度比平成30年度と比較して、150件減少している実態にあるとお答えしている。いじめが減少した要因は、いじめ防止対策方針に組織的に対応できている、あるいは学級集団調査等の結果を、校内いじめ防止委員会で共有して、指導に当たっている。道徳や学級活動の授業を通じて、児童生徒の心の中にいじめの悪いことということが、意識として醸成されているといった背景がある。昨年度のいじめ認知件数が大きく減少したのは、道徳が小学校から始まって中学校へということで、完全実施にいたっている。そういった事における、児童生徒の道徳的な心情や実践力の育成、これらがいじめ防止に繋がっているものという捉え方をしたと答弁した。不登校の児童生徒数は、昨年度小学校4人、中学校19人、合わせて23人ということで、対前年度比6人ほど増加しているという実態。要因としてはいろいろあるが、無気力・不安・生活の乱れなど本人に関わるものが11人、学業不振、進路に係る不安、部活動への不適應といった学校に関わる状況が5人、家庭内の不安に関わる状況が4人、その他4人と内訳として把握している。対応としては、各学校で適応支援委員会を通じた組織的な対応、あるいは保護者との信頼関係等を構築しながら、家庭訪問、別室登校、個別の学習等を行っているとお答えした。もう一人の方は、新型コロナウイルス感染対応として、市内各学校には教職員の消毒作業等の負担軽減するための、スクールサポートスタッフ

を配置している。11月末時点で小学校が9校、中学校が1校の10校に配置している状況。現在は、更に中学校に1人追加され、11校に配置している。来年度の国の概算要求では、スクールサポートスタッフの継続が見受けられるが、各都道府県に潤沢に配置できるよう要望していきたいと思う。オンライン学習については、学校の臨時休業時には学級担任による双方向の通信で、健康状況の把握やライブ授業、家庭学習の提供・回収、一人一人の学習状況の把握と支援を行うことができるという点で、非常に有効なものであるが、今後は、学校・家庭の通信環境という部分を整備しながら、教職員のICT教育に関わる研修を通じて指導力向上を図りながら、タブレットが勉強道具として自在に利用できるよう取り組んでいく旨の答えをしている。そのほかに、予定されていた体育祭・運動会、修学旅行の状況、音楽祭、陸上記録会、そういったものの状況についてお答えしている。

学校給食センターの調理業務の選考委員会を行っている。本年度で3年間の調理等の業務期間が終了するというところで、令和3年から5年までの3カ年の調理委託をお願いするにあたって、それに係る応募された業者について選考委員会で選定したものである。実際プレゼンテーションをした業者は5社で、委員にはセンターの栄養教諭はじめ、運営委員会からも委員長である西根中学校の校長先生、PTAの代表となる安代小学校のPTA会長、そういった方々に入っていただき選定させていただいた。契約に至った段階で詳細な内容はお知らせするが、安心安全が継続した形で委託できることを願っている。

現在、大更駅前顔づくり施設の庁内検討委員会では形が見えてきた。具体的な設備から概算工事費等の金額が出てきており、3階、4階の図書館はもちろんのこと、1階や2階の館内全体で本が読めるような構想をしている。2月くらいには、対議会的な説明もあるかと思うので、みなさんにも詳細をお知らせしていきたい。

(教育指導課)

各学校では長く忙しい2学期を終えるところである。本日、小学校4校、中学校4校が終業式を行っており、明日は小学校4校、明後日は2校実施される。1学期の主要行事が2学期に延期され大変忙しかった、やっと終われますと、ある校長先生が私に話された。岩手県でもコロナ感染症が拡大している中で、無事2学期を終えられたことは、各学校の先生方、保護者のみなさん、支えていただいている地域のみなさんのおかげであると、心より感謝している。

11月24日第2回支援委員会では、市内小中学校の在籍する児童生徒20名の望ましい就学について検討した。来年4月に就学する幼児1名についても、望ましい就学の検討の対象となっている。20名の在学児童生徒については、現在各学校で教育支援委員会の結果を踏まえ、保護者の皆様と相談を進めている。幼児1名については、保護者が幼児に対するより手厚い支援を希望されていて、県立の特別支援学校への入学を希望し、学校の見学にも参加し手続きを進

めている状況である。

12月1日実施したコミュニティ・スクール研修会では、市のコミュニティ・スクール推進協議会委員のみなさんと、各学校の学校運営協議会の会長または副会長に参加いただき、当日は32名の参加をいただいた。講師には、本市で指導主事をされ、コミュニティ・スクールの導入にご尽力いただいた、岩手県教育委員会の片方主任指導主事をお招きし、コミュニティ・スクールの県の動向について講話をいただいた。次に、教育委員会事務局の藤嶋コミュニティ・スクールアドバイザーに、本市のコミュニティ・スクールの現状と、今後の方向性についてお話いただいた。短い時間ではあったが、参加者にとって有意義な研修とすることができたと思っている。八幡平市が目指す郷土を愛し、大切に育てる子供の育成を目指し、地域とともにある学校の実現に向けて、コミュニティ・スクールの取り組みの充実を図っていききたいと思っている。

9. 報告事項についての質疑

なし

10. 付議事件

○星教育長

報告第1号「議会の議決を経るべき議案について」を事務局からお願いします。

○工藤教育総務課長

令和2年度一般会計補正予算第9号について別紙のとおり報告いたします。

(資料に基づき説明)

○星教育長

報告第1号について説明がありました。ただいまの説明にご質問等ありましたらご発言をお願いします。

○宮野委員

小学校の学校管理費の危険木について、この168万円は大更小学校の支障木伐採に対する支出ですか。

○工藤教育総務課長

これには、ほかの小学校の通常の支障木も含まれております。場所而言えば平舘小学校の枝打ちで、残りは大更小学校のけやきの分です。

○宮野委員

これは終わりましたか。

○工藤教育総務課課長
まだです。

○宮野委員
市内の小中学校の危険木の点検は終了して、これを実行することによって危険木は撤去されたという認識でよろしいでしょうか。

○工藤教育総務課課長
まだ一中もありますし、他にもいろいろあります。他の学校は年度でローテーションしながらの計画を立てて、実施する予定です。

○宮野委員
危険木の全体的な把握は終わっているのですか。

○工藤教育総務課長
終わっています。あとは実施の計画です。

○星教育長
ほかに質疑ありますかでしょうか。

(「なし」の声あり)

○星教育長
それでは質疑を終結致します。お諮り致します。報告第1号 議会の議決を経るべき議案について、原案のとおり承認することでご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○星教育長
異議なしと認め、報告第1号は原案のとおり承認されました。
続きまして、議案第1号「八幡平市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規定の一部を改正する訓令」について、事務局から提案理由の説明をお願い致します。

○工藤教育総務課長
議案第1号「八幡平市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規定の一部を改正する訓令」に関し議決を求めるものです。

(資料に基づき説明)

○星教育長

はい、ありがとうございました。

議案第1号について説明がありました。ただいまの説明に関しまして、質問等ありましたらご発言お願いいたします。

○宮野委員

生涯学習は市長部局に置くということですね。

○星教育長

そうです。

○宮野委員

1月8日に総合教育会議がありますが、3年度の教育会議の場合は文化スポーツ課長が出席するのでしょうか。

○工藤教育総務課長

たて割りで見るとそうなのですが、コミセンの管理、男女共同参画や教育にも触れる部分はまちづくり推進課になりますので、片方だけでいいのかとされているところもある。

○星教育長

両方来るのではないのでしょうか。

○工藤教育総務課長

生涯学習、コミセンは単純には切り離せないのです。

○宮野委員

学校教育に関しては教育長が責任者で、まちづくり推進課・文化スポーツ課の場合、教育長が責任者とはならないで、市長ということになるのでしょうか。

○星教育長

そうです。ただそのあたりは未定ですが、社会教育委員会議などは教育長命で招集していますので。

○工藤教育総務課長

決定権は教育委員会に委ねられていますので、そのもとで事務執行するのは市長部局にやっていただいている形です。文化財保護も重要案件なので、文化財の保護指定を決定するにあたっては、教育委員会に付するという形にはなります。

○宮野委員

そのあたりをわかりやすい説明ができるようにしていただきたい。

○工藤教育総務課長

生涯学習・文化財に関して補助執行と言いつつ、実際執行権を持って決定権までを持っているということになります。

○伊藤委員

社会教育関係にメスを入れたのはいいが、いろいろな分野が広くたくさんあることで、どこからどこまで教育委員会か、市長部局かというのは単純には分けることができない状態である。

○工藤教育総務課長

社会教育施設全般の所管を市長部局が持てるという選択肢ができましたので、図書館・博物館・八幡平市には無いですが文化会館等を、総括して市長部局が担うことができる。図書館も文化スポーツ課ができましたら生涯学習のラインの方に乗せないと、今後の図書館運営についても危惧しているところです。

○伊藤委員

教育委員会の学校教育の分野、行政の市長部局とはずっと分かれていたが、近年は市民も何が教育委員会と関係しているとか、市長部局が何を管理しているとか、わからない人が多いと思います。

○工藤教育総務課長

学校教育に付随するのが教育委員会で、社会教育と学校教育があってその上に生涯学習があるのですが、生涯学習を大きく捉えた中の学校教育の部分を本来教育委員会が担って、社会教育の部分に市長部局という捉えをしています。

○星教育長

ほかに質疑ありますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○星教育長

それでは質疑を終結致します。お諮り致します。議案第1号「八幡平市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規定の一部を改正する訓令」について、原案のとおり決することでご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○星教育長

異議なしと認め、議案第1号は原案の通り可決されました。

続きまして、議案第2号「八幡平市教育委員会代決専決規定の一部を改正する訓令」について、事務局から提案内容の説明をお願い致します。

○工藤教育総務課課長

議案第2号「八幡平市教育委員会代決専決規定の一部を改正する訓令」について八幡平市物品管理規則の一部改正に伴い、所要の整備をしようとするものであります

(資料に基づき説明)

○星教育長

議案第2号について説明がありました。ただいまの説明に関しまして質問等ございますか。

(「なし」の声あり)

○星教育長

それでは質疑を終結致します。お諮り致します。議案第2号「八幡平市教育委員会代決専決規程の一部を改正する訓令」について、原案のとおり決することでご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○星教育長

異議なしと認め、議案第2号は原案の通り可決されました。

11. その他

○星教育長

事務局から何かありますか。

(「なし」の声あり)

○星教育長

委員のみなさんから何かありますか。

(「なし」の声あり)

12. 閉会

これを持ちまして八幡平市教育委員会定例会は閉じさせていただきます。ありがとうございました。